

ヴァイブ
処女精騎士
カーラ異種陵辱





てああッ

バグッバグッ

バグッ

ボサ
ルン
トッ
ダー



この
威力…

我が部下が
敵わんだん…



さすがは
精騎軍
と言っ
ところ
かた

しにか
俺はし
通じん
ツ

ウウウ



まやん
ジ

キ

カ

!!!



そんな
私の魔法で
ピンピン
なんてっ!!

く



どうした
手詰まりか?
では
俺の番だなッ

ズ



いやあああ

クククッ
強力な
魔法を
もちいても

じゅ

ギョ

所詮は
女子かッ

ひっ

やッ

しかし
子を
育てるには

良い乳房を
しておる……ッ

ぐいん

ブル

ブル





では常時勃起しているというのか？

こうだッ!!

こんな淫乱な乳首は...



いやああアアアッ!
ちぎれちや...ッ

ヒ...ッ
イッ



やめて…
なみ切ら
ないでッ

ギリ
ギリ

痛ッ



この弾力と
ハリだ
痕は残らん

ぐい
ぐい



ククク
泣くほど
悦かったか?

グ
ル
ル

…ううッ
痛いだけよッ

ん
ん
ん



もうッ
やめッ

ん
ん
ん



ン？
何か
言ったか？

パカッ

ズイ

いやッ！

こんな
大きいの
ムリよッ

私の腕より
太い……ッ

ふむ……
では
クチで
許すと
するか



……そんな
コト

どうした？
願ってもない
申し出
であろう

一時的の
プライドを
捨てれば
純潔を保てる
のだ

な！！

……うう

すッ



クククッ
お前から
処女の匂い
がプン
プン
香るわッ

さっさと
服を脱ぎ
俺に奉仕
しろッ！

ひッ



：美しい裸体だ
勇ましい
精騎兵も
剥けば
メスか…

くッ

うるさい！
すれば
いいんでしょッ
さっさと
終わらせるわッ

クククッ
覇気を
取り戻したか…
しかし
一心に尽くし
俺の気分を
損ねぬ
ようにな

ぐッ

今は
こらえて…
うう…ッ

いキュ

すッ

くッ
んう

ヒクッ

うう
ナマ臭いッ
獣臭いッ

ズウ

ニャル

ズウ

ニャル

フムハ
我が男根が
こうもやすやすと
埋まる巨乳は
そうはないぞッ

ドクッ

ぶっ

ぶっ

ニャル

ニャル

んう

ククク
そうだ
その調子で
舌も使え





先から
粘り液が
染み出
てみる...

ブルブル

ん

んん
んん

んん
んん

んんんん



今よ
かーラッ!

.....



なかなか
上手いぞッ

...クッ



そうだ...
ククッ
精騎兵は
性技の
飲み込みも
早いと見える

んん

んん

んん

んん



よな!
うめに
硬いの

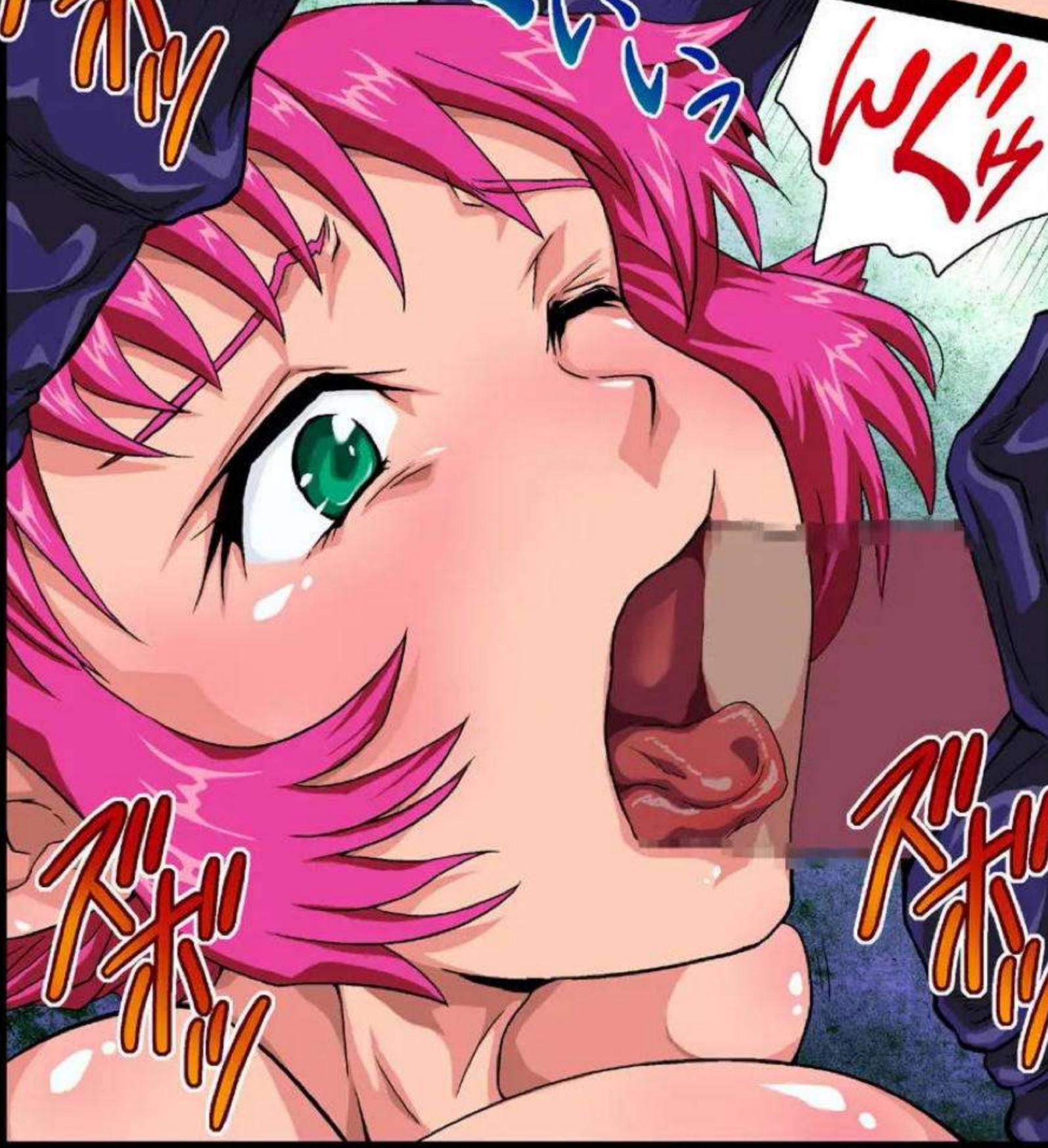
カ
カ
カ

ツ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ん
ん
ん



ククク
歯は
欠けなかつたか?

しかし
啞えたいと
言うなら
やぶさかでは
ないぞ?

ズ
ズ
ズ



クククッ
しかし胃に
流し込んで
仕方あるまい…

げほ
ゲホッ

せえ…せえ

さあ
股を開けッ
女にしてやる

イヤッ!

ズズ…



やだあッ
ク…ク千で
するからあッ!

噛み付いた
口でよく
ほざく…クク

がぼッ

ひい…ッ
ごめんなさい
何でもするからッ
それだけは…ッ

ググッ

やはり
処女か...

あぐう
...抜いて

ひび

よ抜いて
おおツ

あ

ズ

ズ

あ
ぐう

ず

がくがく

はあアツ

はあ

はア

はああアツ

ず





おっ おっ おっ おっ

おっ おっ

はひッ
ひッ

あ…

やめ…っ

あ…っ

持ち上げないで…ッ

はあッ

はあッ

グッ

ぐっ
ぐっ
ぐっ



ぐっ
ぐっ

!!

だ…めエ



待ってッ

やあ…ッ

ドッ
ドッ



みちい

根元まで
挿れて
やろう



ズッ

ぬきいいい

あぐううううう

かはっ

くあアッ

かハッ
ひびく
全て
入ったぞッ
俺のペニスがッ

ん

ん

ん

ん



いい締めだ
押し戻そうと
反発するほどに
俺に絡みつく

ククク
お前の意思とは
無関係になッ



かはスッ

ズッ

……ッ



はあッ

はあッ

あああッ

そうだった
メスらしく
男根に支配
されるまま
むせび泣けば
よいッ



その苦痛も
屈辱も
毎夜続くうちに
快楽へと変わる

メスとは
そういう
モノよッ

はあッ

はあッ

や……ッ

ひいッ

はああッ



我が子を
孕みッ
産み
育てよッ

いそんなの…
いやああアアッ



毎夜って…
十二言って…

なっ



この
ペローチエ様が
寵愛して
やろう…ッ

お前の身体は
長く楽しめ
そうだ



ダメッ
ダメッ
だめえエエッ

出すぞッ
子宮で
受け止めるッ



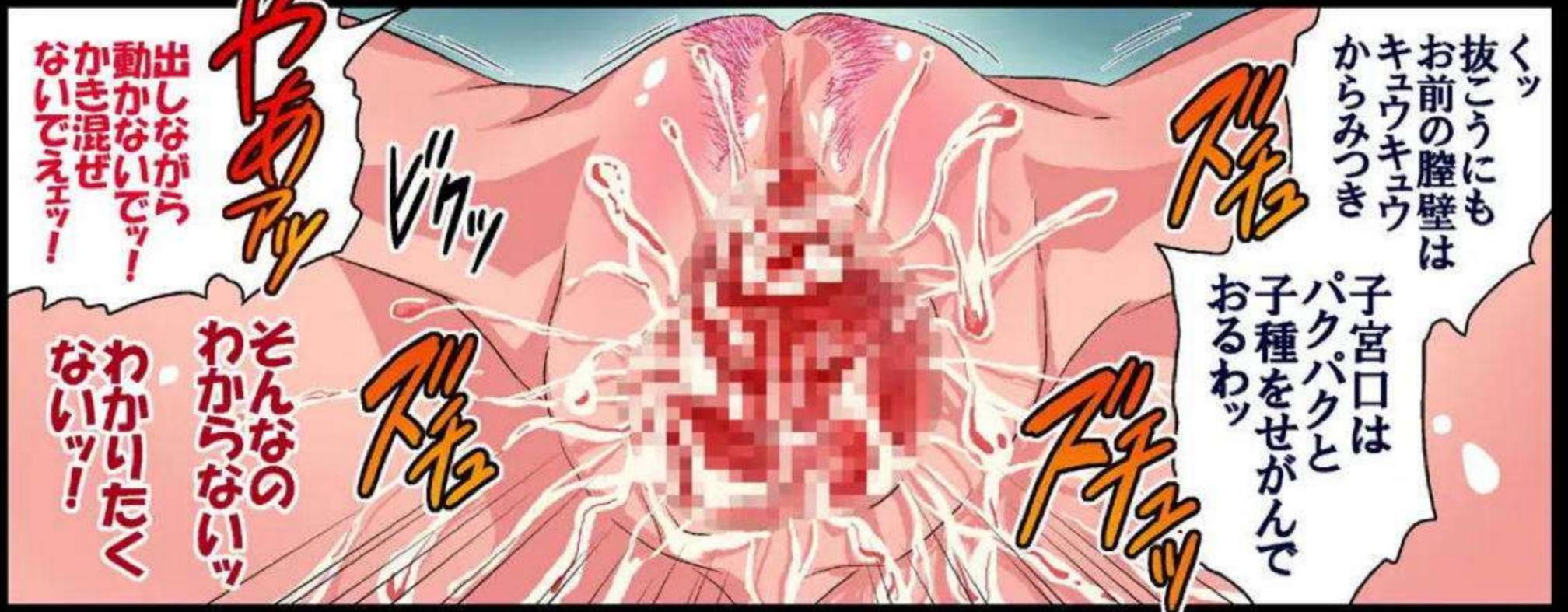


抜いてよ...
抜いてよ...
おお...

出てる...
私の膣内(ナカ)...
ペラの
脈動にあわせて
ビュクッビュクッて
膣内射精...
止まらない...



ブルブル



くっ
抜こうにも
お前の膣壁は
キュウキュウ
からみつき

子宮口は
パクパクと
子種をせがんで
おるわッ

出しながら
動かないでッ!
かき混ぜ
ないでえッ!

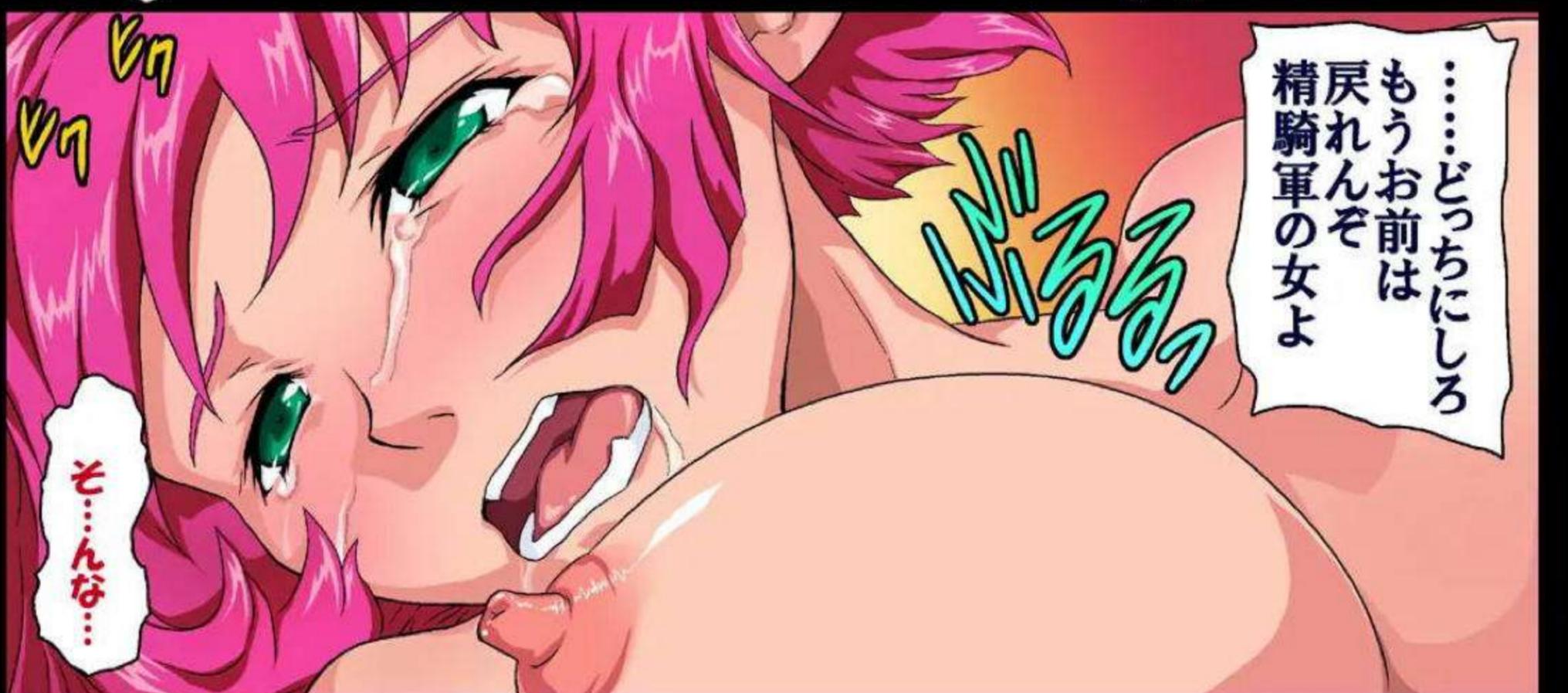
そんなの
わからないッ
わかれたいッ
ないッ!

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ





その後……。

ペロ―チェは連日連夜カーラを犯し続けた。さまざまな体位で彼女を貫き、膣内に射精した。石壁の牢獄に監禁し、風呂にも入れず魔獣の精液にまみれ、その若き女の体臭は人外の物へと染まっていくなかに、しかし、何度抱いても、気高き精騎士カーラは堕ちなかつた。魔獣を、ペロ―チェを拒絶し、憎しみと怒りの目を向ける敗戦騎士……。彼女はペロ―チェとの性交に、快楽をおぼえなかつた。己の性器に刻まれる苦痛と屈辱に、悲鳴を上げては堪えるのみだつた。

ペロ―チェはカーラに執着していた。彼女を自ずから股を開く性奴へと変貌させたかつた。快感を求め、己にすがりつく従順な肉人形に調教したかつた。ペロ―チェは己の巨大すぎるイチモツに、未だカーラの膣穴が馴染んでいないのだと考へた。受け止められるほど器が拡がりきっていない。そこで己よりサイスの小さい魔獣にも、カーラを抱かせることにした。己を受け入れる膣穴開発のため、幾多の魔獣に交わらせる。

無数の異形ペニスの責め苦に、壊れ行くカーラの理性…。挿入されるモノの目方が、日に日に大きくなっていくのが判る。それを強要されつつ、受け入れる彼女の性器も、異形サイスへと拡張されていく。薄い桃色だった花弁は、痛々しくも紅色に晴れ上がり、時には膣壁を裂かれ、血を潤ませる。癒える暇もなく、注がれ浴びせられる、魔獣の精。白濁の粘液が膣を焼き、染み入る熱がカーラを翻弄とさせる。「あ…あ…あ…あ…」

ぐったりと四肢を横たえるカーラ。しかし、魔獣の精は尽きることなく、更なる虐待を彼女に続行する…。ペロ―チエは、たしかにカーラに執着していた。しかし、自分以外がカーラを抱くことに、不快はなかった。…最後に、俺の隣にいればよい。己の子を授かるのであれば、精騎族であるカーラを妻として娶ってもよいとすら、ペロ―チエは考えていた。人間ではない魔獣の執着、独占欲、そして愛情については、我々に因る由もないのである。三足歩行すらとらない、ケモノ型の魔獣に犯された時、彼女の精神はピークを迎えた…。「イヤッ、イヤッ、ああああアアアアアッ！」

カーラは、確かに嬌声をあげた。拒絶だけではない、膣内射精を男にうながす媚声…。身をビクンと跳ね、失禁する。彼女は魔獣との性交で、イッた。たしかに達した。全てを眺めていたペロ―チエは玉座から腰を上げる。膣壁の調教は終わり、これよりペロ―チエ自らの肉の快樂洗脳が始まる…。



あとがき&奥付

このたびは、ダウンロード販売onlyコミック
「処女精騎士・カーラ異種陵辱」を
お買い上げありがとうございました。
楽しんでいただければ幸いです。

全頁フルカラー漫画を細々と描いてきましたが
やっとこさ「コツ」がわかったかなーという印象です。
課題としていた各コマのCGイラスト化のやり方も
今後安定していくかもしれません。

ただ、コマを抜き出してのCG化を前提に描いていると
各項イラスト的なコマになっている気がしますので、
(いまいち漫画特有の絵運びとのギャップを感じるの…)
そこらへんが今後の課題かな〜と。
モノクロ漫画だと流して描くコマも、
着色するとテッサン崩れが目立って
「なんだかなー」だったりするんですよお、ぐぬぬ…。

まあ試行錯誤しながらも
楽しく創作してますので
テンポよく発表していければ…いいなあ。

今回はベローチェ様×カーラメインとなりましたが、
カーラはもっと異種輪姦させたいキャラでもあります。
(そこらへんがさびしくてイラスト+テキスト形式の
ページを足しました)

日を置いて再挑戦したいっスね〜。
快樂墮ちに抵抗してくれるヒロインは
大好物ですものッ！

それではまた〜。
09年10月某日 ギノ企画・ギノセージ

●注意●

- ・本作品は18歳未満の方の観覧を禁止しております。
- ・本作品を無断で転載、商用利用、コピー、レンタル等を禁止します。

